

令和3年度 徳島県立名西高等学校経営計画

1 学校教育目標

- 1 本校の歴史と伝統を重んじ、知・徳・体の調和がとれた、誠実で民主的・創造的な実践力のある心身ともにたくましい人間を育成する。
- 2 生徒一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばすとともに、個人の尊厳と基本的人権を尊重し、民主社会の実現に貢献できる人間を育成する。
- 3 我が国の文化と伝統を尊重するとともに、平和な国際社会づくりに貢献できる人材を育成する。

2 学校経営基本方針

- 1 明日に輝く名高生～挑戦・協力・創造できる生徒の育成に努める。
- 2 「文化芸術リーディングハイスクール」による芸術科の活性化と地域に愛される学校づくりに努める。

3 本年度重点目標

- ① 基本的な生活習慣の確立を図る生徒指導の充実
- ② 自他を大切に作る心や態度を育成
- ③ 社会的自立のために必要な能力や態度の育成
- ④ 基礎的・基本的な学力の育成
- ⑤ 活力ある部活動と学校をリードする生徒の育成
- ⑥ 地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進
- ⑦ 文化芸術活動における地域への積極的な創造発信
- ⑧ 防災・安全教育の徹底と環境教育の推進
- ⑨ 主権者教育・消費者教育・情報教育の推進

		自己評価		学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価		
			評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
基本的 生活習慣の 確立を図る 生徒指導の 充実	①基本的な生活習慣の確立を図る 生徒指導の充実	生徒指導課 各学年主任	① 遅刻者数を700人以下にする。(R2は763人)	①	(評定)	
			② スマホマナーアップ運動を充実させ、スマホが原因による特別指導を0にする。(R2, 0件)	②	(所見)	
			③ 交通事故防止と交通マナー向上の指導を徹底させ、登下校における交通事故を3件以内にする。(R2は7件)	③		
		生徒指導課 各学年主任	活動計画	活動計画の実施状況		
			① 「遅刻ゼロの日」や「考査時の5分前登校」の取組を充実させる。また、遅刻カードで遅刻数や理由を確認し、個別に指導する。声かけ指導も毎朝実施する。	①		
			② スマホ安全教室の実施やクリアファイルの配布、ポスター掲示など啓発に努める。また、生徒会やPTAと連携を図る。	②		
③ 登校時の立哨指導(毎日)、街頭指導(月1回)、交通安全街頭キャンペーン(年2回)、車体検査と通学別集会(年3回)、交通委員会による挨拶運動(月1回)を実施する。	③					

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策	
			評価指標と活動計画		評価			
自他を大切に する心や態度を 育成	②自他を大切に する心や態度を 育成	人権国際教育課	評価指標	① 徳島県人権教育推進方針にしたがって人権教育を推進すると共に、さまざまな人権課題について教職員間で共通認識を持つ。	①	総合評価 (評定)	○	
				② 生徒一人ひとりの人権意識を高める活動を推進する。	②			(所見)
				③ 3年生対象の「人権に関する意識調査」で、人権課題に取り組む意欲を示す回答を9割以上にする。(R2年:93%, R1年:95%)	③			
		人権国際教育課	活動計画	① 各学年で人権HR活動検討会や人権教育研修会を計画・実施するほか、校外の各種研究・研修会に参加し、機会を捉えてその報告を行う。	①	総合評価 (評定)		
				② 生徒会人権委員会による人権に関する取組を活発に行う。	②			(所見)
				③ 多様性や人権を尊重し、いじめ・差別を許さない生徒の意識や態度を育てる人権HR活動や人権映画鑑賞会・講演会等を行う。	③			
生徒指導課 特別支援	④ 学校いじめ防止方針に基づき未然防止に努め、いじめによる特別指導を0にする。(R2は0件)	生徒指導課 特別支援	評価指標	④ 学校いじめ防止方針に基づき未然防止に努め、いじめによる特別指導を0にする。(R2は0件)	④	総合評価 (評定)	○	
				⑤ 生徒理解に努め、必要に応じた職員研修やケース会議が実施する。	⑤			(所見)
			活動計画	④ アンケートを年2回実施し、早期発見に努める。また、いじめは絶対に許さないという姿勢を全校集会等で明確にし、生徒が相談しやすい環境をつくる。	④			
生徒指導課 特別支援	⑤ 特別支援教育の視点で、生徒実態調査を、年1回行い、その結果を教職員研修会で情報共有する。支援が必要な生徒については、年間2回以上ケース会を行う。(R2, ケース会2回)	生徒指導課 特別支援		⑤ 特別支援教育の視点で、生徒実態調査を、年1回行い、その結果を教職員研修会で情報共有する。支援が必要な生徒については、年間2回以上ケース会を行う。(R2, ケース会2回)	⑤			

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画		評価		
自他を大切に する心や態度を 育成	②自他を大切に する心や態度を 育成	保健厚生課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価		○
			⑥ 生徒の心身の健康問題について、担任・保護者や必要に応じて専門の相談機関等と連携し健康相談活動を行う。(R2, 3件)	⑥	(評定)		
			⑦ 毎学期1回以上学校医による健康相談を実施し、生徒の健康の保持増進に努める。(R2, 2回実施)	⑦	(所見)		
			⑧ 内科検診、結核検診、心電図検査の全員受診、二次検査対象者の全員受診を完了する。(R2 二次検査, 内科, 結核, 心電図全員完了)	⑧			
		⑨ ほげんだよりを毎月発行する。(R2, 6月以降月1回発行) 健康や性に関する講演会を年1回以上実施する。(R2, 中止)	⑨				
		保健厚生課	活動計画	活動計画の実施状況			
			⑥ 保健室の機能を生かしながら担任、保護者と連携を図る。必要な場合はサポートセンター等専門の相談機関につなげる。	⑥			
			⑦ 希望者または必要とする生徒に対して学校医による健康相談を実施する。	⑦			
⑧ 健康診断の結果、未受診者や二次検査が必要な生徒に対して受診指示を周知徹底する。	⑧						
⑨ ほげんだよりを通して健康への関心を高める。定期的に健康や性に関する講演会を実施する。	⑨						
特別活動課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価				
	⑩ 「あいさつ運動」を毎週2回以上実施する。	⑩	(評定)				
特別活動課	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)				
	⑩ 生徒会役員が中心となり、登校時に「あいさつ運動」を実施する。	⑩					

己 評 価		学校関係者評価		次年度への課題と 今後の改善方策		
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評 価		
			評価指標	評価指標の達成度		
社会的自立のために必要な能力や態度の育成	③社会的自立のために必要な能力や態度の育成	進路指導課	① 生徒に進路情報を随時提供することができたか。	①	総合評価 (評定)	
			② 最終進路先に満足する生徒の割合が90%以上、本校の進路指導に満足する生徒の割合が90%以上であったか。(R2:97%, 97%)	②	(所見)	
		進路指導課	活動計画	活動計画の実施状況		
			① 生徒に進路情報を随時提供する。(「木鐸」年1回、職場体験やオープンキャンパス等各種案内随時)	①		
			② 生徒の進路相談に随時応じ、丁寧な進路指導を行う。	②		
		③社会的自立のために必要な能力や態度の育成	進路指導課 (探究)	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)
	③ 進路意識を高める行事や講演会等に主体的に参加する生徒の割合を84%以上とすることを達成する。(R2年度83.2%)			③	(所見)	
			④ 各学年での志望理由書に関する取り組みに対して、アンケートによる生徒の満足度を86%以上とすることを旨とする。(R2年度85.0%)	④		
	進路指導課 (探究)		活動計画	活動計画の実施状況		
			③ 「総合的な探究の時間」の計画において、生徒の実態に応じ、進路意識を高める行事や講演会等の内容の改善を図り、生徒が主体的に参加することができるようにする。	③		
			④ 志望理由書に関する取り組みを2・3学年の年間計画に位置づける。各ホームルームでの事前指導を経て、志望理由書模試を実施し、事後指導の後、アンケートで生徒の満足度を確認する。2・3学年では、事前指導の中で講演会も実施する。	④		
	3 学年共通	3 学年共通	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
⑤ 全生徒と各学期に1回以上進路や学習、生活面についての面談をする。			⑤	(所見)		
		⑥ 講演会や学年集会を各学年5回以上開催する。(R2:1年12回, 2年10回, 3年7回)	⑥			
3 学年共通		活動計画	活動計画の実施状況			
		⑤ 生徒と担任、学年団との面談を実施し、個別にきめ細かい指導を行う。	⑤			
		⑥ 進路に関する講演会や学年集会を通して学力向上への意欲や、望ましい職業観の確立を図る。	⑥			

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
基礎学力の向上を目指す	④基礎的・基本的な学力の育成	教務課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	○
			① 定期考査期間中の平均家庭学習時間2時間以上の者が30%以上、かつゼロ時間の者がゼロであるようにする。(R2:2時間以上の者の割合は54%、ゼロ時間の者の割合は2%)	①		
			② 成績不振者数の割合を、前年度1・2学期と比較して、減少させる。(R2:1学期は前年比較で9名増。2学期は前年比較で4名増。)	②		
			③ 成績不振者に対して、休業中に基礎学力補充講座を行う。出席率を100%にする。(R2:出席率は100%)	③		
		④ 授業時数確保に努め、出張・年休の授業振り替え率を90%以上にする。(R2は98.5%)	④	(所見)		
		活動計画	活動計画の実施状況			
		① 学習時間調査を実施し、生徒に対する意識づけを行い家庭学習時間ゼロをなくす。	①			
		② 授業やホームルーム、集会等で学習意欲を喚起させるとともに、授業態度や提出物等の指導を徹底する。	②			
③ 夏季及び冬季の長期休業中に基礎学力補充講座をそれぞれ3日間実施し、学力の補充に努めさせる。	③					
④ 行事などの精選を図るとともに、自習を減らし、授業振り替えをする。	④					

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
基礎学力の向上を目指す	④基礎的・基本的な学力の育成	国語科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
			⑤ 漢字や語彙の定着を図るため週末課題にして提出させる。提出率を100%にする。	⑦		
			⑥ 授業評価アンケートの「教科に関する興味・関心」「充実度」がある生徒の割合95%以上を目指す。(R2:95%)	⑧		
		⑦ 授業評価アンケートの「宿題をしている」生徒の割合を80%以上にする。(R2:80%)	⑨			
		国語科	活動計画	活動計画の実施状況		総合評価 (評定)
			⑤ 授業と家庭学習を連動させる。語彙力の定着と社会に目をむける意識づけをする。	⑦		
	⑥ 協働学習や発表により達成感や充実感を味わわせる。便覧・資料等を活用してより深く興味・関心を呼び起こし、積極的な授業参加ができるよう配慮していく。		⑧			
	⑦ 授業の目標を明確にし、授業の内容にあったプリントや週末課題を配付し、家庭学習の習慣を身につけさせる。プリントや週末課題はファイルし、提出させて評価する。	⑨				
	地歴・公民科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)		
		⑧ 授業評価の「興味・関心」「充実度」で、8割以上の生徒が満足することで、基礎的・基本的な学力の育成をはかる。(R2:85%)	⑧			
		⑨ 基礎的・基本的な学力を身につけさせるために、定期的にノート、プリント等を提出させる。提出率を100%にする。(R2:100%)	⑨			
	地歴・公民科	活動計画	活動計画の実施状況		総合評価 (評定)	
⑧ 毎時間、時事問題や対話的な学びを取り入れ、生徒の興味・関心を高めるとともに、能動的に学ぼうとする姿勢を育む。		⑧				
⑨ 基礎基本の定着をはかるため、定期テストごとにノートを提出させ、未提出の者には提出を促す。ノートを効率よくとれるよう板書計画を吟味する。		⑨				

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見
基礎学力の向上を目指す	④基礎的・基本的な学力の育成	数学科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価
			⑩ 1, 2年生の授業における小テストの正答率を70%以上にする。(R2:1年生76%, 2年生64%)	⑩	(評定)
		⑪ 学年全員が履修する数学Iの授業評価アンケートにおいて、授業に興味・関心を持った生徒の割合を80%以上にする。(R2:56%)	⑪	(所見)	
		数学科	活動計画	活動計画の実施状況	
			⑩ 週に1度の予定で小テストを実施する。課題を事前に配布し、家庭で学習してから小テストを受ける流れを確立させることにより、基礎学力の向上につなげる。	⑩	
		⑪ 毎時の目標を明確に示すとともに発問を多くしたり、協働学習を取り入れるなど、全員が授業に積極的に取り組んでいる態勢をつくる。	⑪		
	理科	理科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価
			⑫ ノートやプリント、課題及びサブノート等の提出・確認を細かく行い、その提出率を100%にする。(R2:98%)	⑫	(評定)
			⑬ 理科関連のニュースを授業で取り上げることで、学習内容が現実社会と密接に関連していることを理解させ、学習意欲の向上に繋げる。	⑬	(所見)
		⑭ 生徒がやる気を持って試験に臨み、満足できる結果を得るためのサポートを必要に応じて考査前に行う。また、年度末の欠点取得者をゼロにする。(R2:2%)	⑭		
		理科	活動計画	活動計画の実施状況	
			⑫ 教科書の内容の理解定着をはかるためのきめ細かい指導と解説を行う。ノートを効率よくとれるよう板書計画を吟味し、生徒のノートやプリント等の定期的な提出と確認を行う。また、検印するなど後から確認できるようにする。	⑫	
⑬ ニュース・新聞等の記事から授業内容に即する内容についてプリント等を作成する。記事中の単語、内容の解説を行い、基礎的な科学的知識の習得に努める。月2回程度の取り組みを目指す。	⑬				
⑭ 生徒が学習に取り組みやすいよう、早めに考査の出題範囲や出題傾向を伝えたり、学習方法を伝授する。また、努力が結果に繋がる出題を心掛ける。必要に応じてテスト前に補習等を行う。	⑭				

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方針		
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見		
基礎学力の向上を目指す	④基礎的・基本的な学力の育成	英語科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
			⑮ 1年生の各学期末で80点以上（評定5）の生徒の割合を30%以上にする。 （R2: 1学期34%, 2学期14%）	⑮		(評定)	
			⑯ 2年生の各学期末で80点以上（評定5）の生徒の割合を30%以上にする。 （R2: 1学期30%, 2学期25%）	⑯			(所見)
			⑰ 3年生の各学期末で80点以上（評定5）の生徒の割合を40%以上にする。 （R2: 1学期60%, 2学期26%）	⑰			
		⑱ 年間の英検受験者数（延べ）と合格者数を前年より増やす。 （R2: 受験者数16名（延べ）, 合格者数8名（合格率50%））	⑱				
		英語科	活動計画	活動計画の実施状況			
		⑮ ・授業でポイントをよく理解させる。 ・繰り返し暗唱・復習することを奨励する。 ・小テストの結果を集計・追跡し、評価の一部に加味するとともに個人の指導に生かす。 ・「English for Tomorrow」（中学校復習教材）を週末課題とし、計画的に取り組ませる。また、自主学習を促す。	⑮				
		⑯ ・授業でポイントをよく理解させる。 ・単語テストを実施し、語彙力をつける。 ・テスト対策プリントで、考査前にポイントを復習させる。	⑯				
⑰ ・授業でポイントをよく理解させる。 ・繰り返し暗唱・復習することを奨励する。 ・小テストの結果を集計・追跡し、評価の一部に加味するとともに個人の指導に生かす。	⑰						
⑱ ・放課後一次試験（筆記）の対策講座を開く。 ・ALTを中心に二次試験（面接）の練習をする。 ・英語科と図書室で英検対策問題集の貸し出しを行う。	⑱						

自 己 評 価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策		
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評 価			
			評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
基礎学力の向上を目指す	④基礎的・基本的な学力の育成	総務課 図書広報	⑱ クラス読書会や読書週間などの図書関連行事を実施する。	⑱	(評定)	○	
			⑲ 読書活動に積極的に取り組んでいる割合を80%以上にする。	⑲			(所見)
			⑳ 一人あたりの図書館利用回数を年間で9回以上にする。(4月～12月) (R2 8.4冊)	⑳			
			㉑ 一人あたりの年間貸出冊数を3冊以上にする。(4月～12月) (R2 2.8冊)	㉑			
			㉒ 名高ライブラリーを毎月発行する。	㉒			
		総務課 図書広報	活動計画	活動計画の実施状況			
			⑱ クラス読書会や読書週間の実施案内を教室に掲示し、積極的な参加を促す。	⑱			
			⑲ 図書館や学級文庫にリクエスト本を購入し、蔵書の充実を図り、「朝の読書」の取り組みを十分に生かすことで、積極的に取り組む生徒を増やす。	⑲			
			⑳ 図書室前の掲示板でおすすめ本を紹介し、図書館の本をテーマ別に紹介して、入館者数の増加を図る。	⑳			
			㉑ 教科・科目と連携して推薦本を紹介し、さまざまなジャンルの本に興味・関心を持たせ、貸出冊数の増加につなげていく。	㉑			
		㉒ 名高ライブラリーで新刊本やお薦め本を紹介し、教室に掲示する。	㉒				

重点課題		重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題		重点目標	主担当	評価指標と活動計画		評価	学校関係者の意見	
活 力 あ る 部 活 動 と 学 校 を リ ー ド す る 生 徒 の 育 成	⑤活力ある部活動と学校をリードする生徒の育成	特別活動課	評価指標	① 自主的にボランティア活動を行った生徒が、全校生徒の60%以上だったか。(R1 52.8% R2 様々なボランティアイベントが中止)	評価指標の達成度	①	総合評価 (評定)	○
			活動計画	① 全校生に趣旨の徹底をはかるとともに、募金活動など、密集や接触を避けたボランティア活動の自発的な取り組みを推進する。	活動計画の実施状況	①	(所見)	
		芸術科	評価指標	② 校内での行事における演奏や美術・書道作品の展示を通して、生徒の豊かな感性を育む。	評価指標の達成度	②	総合評価 (評定)	○
			活動計画	② 県内唯一の芸術科を持つ学校としてその有利性を発揮し、校内で演奏や美術・書道の常設展示を行い、学期に1回以上演奏会や展示替えを実施する。(R2 美術・書道合わせて4回)	活動計画の実施状況	②	(所見)	
	特別活動課	評価指標	③ 全国大会に2名以上、四国大会に10名以上の出場を目標とする。(R1. 全国13名、四国30名、R2. 県総体代替大会優勝 相撲部、陸上部、弓道部)	評価指標の達成度	③	総合評価 (評定)	○	
		活動計画	④ 高文祭では全国大会に3部以上、各種大会・コンクールについては全国規模の入賞・入選数80を目標とする。(R2. 高文祭4部門、入選102)	活動計画の実施状況	④			
	特別活動課	活動計画	③ 生徒数は減少しているが、体育部の活動者数を確保し、大会参加や活動の機会を活かし、粘り強く指導する。	活動計画の実施状況	③	(所見)		
		活動計画	④ 生徒数は減少しているが、文化部の活動者数を確保し、大会参加や活動の機会を活かし、粘り強く指導する。	活動計画の実施状況	④			

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	
			評価指標	評価指標の達成度	総合評価
活力ある部活動と学校をリードする生徒の育成	⑤活力ある部活動と学校をリードする生徒の育成	人権国際教育課 英語科	⑤ 外国の文化・慣習等に興味・関心を持ち、国際交流への意識を高めた生徒の割合を70%以上にする。(R2:76%, R1:71%)	⑤	(評定)
			⑥ 生徒の国際理解を深めるために、全校生徒対象の講演会等を1回以上開催する。(R2:0回, R1:3回)	⑥	(所見)
		人権国際教育課 英語科	⑤ ALTの授業を全クラス最低2週間に1回は行う。オンラインでの国際交流を実施する。	⑤	
			⑥ 外国の方や海外経験の豊富な日本人を招き講演会を実施する。	⑥	

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策		
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見		
			評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	⑥地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	総務課	① 保護者と生徒、教職員が協力して校外清掃奉仕活動や、校内美化活動を行う。	①	(評価)	○	
			② 文化祭・体育祭に、P T A役員を中心とした多くの保護者が参加し、教職員と連携して生徒の諸活動を支える。	②	(所見)		
			③ 校外における各種研修に多くの保護者が参加し、諸問題について理解を深める。	③			
			④ 全会員にP T Aの活動についての報告・広報を年間3回以上する。	④			
			⑤ 藤花同窓会と学校が連携して充実した同窓会活動を実施する。藤花同窓会の活動について、在校生や地域に周知・広報し、総会に多くの会員が参加する。	⑤			
				活動計画	活動計画の実施状況		
			総務課	① 石井駅周辺の通学路、及び校内の美化活動への参加を呼びかける。	①		
				② 状況を見ながら、文化祭での模擬店出店、体育祭での麦茶・スポーツドリンク提供について、全保護者に参加を呼びかける。	②		
				③ 徳島県高等学校P T A連合会、生徒指導連絡協議会等の総会・研修会等への参加について、適宜案内する。	③		
				④ P T Aに関する事業報告・事業計画は、5月の総会中止に伴い、第1回理事会で提案・決議するとともに、総会の決議に代え、全会員に書面にて報告する。また、ホームページに、年間の行事や活動への参加案内、及び活動の様子や報告を掲載する。	④		
			⑤ 状況を見ながら、10月の藤花同窓会総会・懇親会を開催し、役員及び卒業30周年の会員を中心に参加を広く呼びかける。諸活動の円滑な実施のため、役員会を年3回開催する。卒業式前日に同窓会入会式を実施して、各ホームルーム理事に委嘱状を手渡し、同窓会会員となる自覚を促す。	⑤			

		自己評価			学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策			
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見				
地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	⑥地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	教務課	評価指標	⑥ 「入学案内」は、本校教育の内容をわかりやすくまとめ、説明会等の資料として積極的に活用する。	⑥	総合評価 (評定)	○		
				⑦ 体験入学等の参加生徒や保護者に、本校の教育内容や特色をわかりやすく説明する。R元体験入学アンケート結果（よい以上-生徒92%、教員・保護者84%）を上昇させる。	⑦			(所見)	
				⑧ 本校の教育実践をわかりやすくまとめた「教科ルーブリック」を作成し、在校生、入学希望者やその保護者に配布し、周知する。	⑧				
				⑨ オープンスクールの参加生徒や保護者に、本校の教育実践をわかりやすく説明する。	⑨				
		教務課	活動計画	⑥ 「入学案内」の構成や情報・内容を改良するとともに、最新の情報に更新していく。また、依頼のある中学校には配付する。	⑥			活動計画の実施状況	(所見)
				⑦ 学校説明会、体験入学、HP等を通じて、本校教育の特色など本校に関する情報を提供し、中学生が進路を選択する際に活用してもらう。体験入学の際にアンケートを実施する。	⑦				
				⑧ 「教科ルーブリック」の構成や内容を見直すとともに、修正する。	⑧				
				⑨ オープンスクール、HP等を通じて、授業（パフォーマンス課題を取り入れたもの）に関する情報を提供し、中学生に参観してもらう。	⑨				
		総務課 図書広報	評価指標	⑩ 学校行事や部活動等の様々な取り組みをホームページで頻度多く掲載する。月に10回以上の更新を行う。（昨年度最少更新月回数8回）	⑩	総合評価 (評定)			
			活動計画	⑩ 各課に更新作業の出来る教員を増やし、学校行事や授業の様子、部活動の取り組み等を紹介する。	⑩			(所見)	

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策		
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見		
地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	⑥地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	芸術科	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	○	
			⑪ 地域社会と連携し、県内唯一の芸術科を有する学校として、生徒の技術力を活かした芸術・文化の発信に寄与する。	⑪			
		⑫ 展覧会・演奏会等の広報活動（ホームページ・ポスター・新聞等）を迅速に行うとともに、中学生を対象とした行事の充実を図る。	⑫	(所見)			
		活動計画	活動計画の実施状況				
		芸術科	⑪ 地域での文化祭や展覧会、文化行事などにおいて、生徒の演奏会や作品交流を中心とした活動に参加する。	⑪			
			⑫ 校内外で展覧会・演奏会を年間3回以上実施する。オープンスクールで芸術科部活動見学会を実施する。(R2 参加者43名)	⑫			
	生徒指導課	生徒指導課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	○	
			⑬ 「名高パトロール隊」を編成し、地域社会や警察と連携して地域の安全のため、パトロールや挨拶運動、美化活動を年30回以上実施する。(R2は35回)	⑬			
		生徒指導課 家庭クラブ	⑭ 交通安全キャンペーンを年2回以上実施し、交通マナーの向上と地域の交通安全に貢献する。(R2はコロナのため中止)	⑭			(所見)
			活動計画	活動計画の実施状況			
		生徒指導課	⑬ 運動部員を中心とした「名高パトロール隊」を編成し、地域社会や警察と連携して、清掃活動や防犯キャンペーン、挨拶運動を適宜実施する。	⑬			
			生徒指導課 家庭クラブ	⑭ 徳島名西署と連携を図り、交通委員会がキャンペーンを実施する。また秋の交通安全キャンペーンでは学校家庭クラブが製作した「無事カエル」のマスコットを配布する。			⑭

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
文化芸術活動における地域への積極的な創造発信	⑦文化芸術活動における地域への積極的な創造発信	総務課 図書広報	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
			① 各行事の結果等については、実施日から3日以内の更新を心掛ける。生徒の活動の様子等の紹介を月3回程度を目標に更新する。	①		
		総務課 図書広報	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
			① 各行事の記録を確実にを行い、地域に発信を行う。各行事が終わって3日以内で発信できるようにする。	①		
		芸術科	評価指標	② リーディングハイスクールの取り組みを活かした活動を積極的に地域へ発信する。(R2 9回)	評価指標の達成度	総合評価 (評定)
					③ 芸術科の各行事や日々の取り組みを、ホームページやさまざまな機会を通じて効果的に案内・広報する。	
	活動計画		② 校外での演奏会や作品展を実施し、生徒の持つ芸術力をアピールする。Web上での「名高作品集」の更新を積極的に行う。	活動計画の実施状況	(所見)	
				③ 各コースの担当者は、芸術科の各行事や日々の取り組みを、迅速にホームページに掲載する。(R2更新数 42回)		③

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
			評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
防災・安全教育の徹底と環境教育の推進	⑧防災・安全教育の徹底と環境教育の推進	環境防災課	① 避難訓練を年2回実施する。	①	(評定)	○
			② 外部機関と連携した防災教育を実施する。	②	(所見)	
			③ 防災クラブの活動を十分に行う。	③		
			④ ゴミの分別をすることがECOにつながることを自覚させる。	④		
			⑤ 環境を整え学習効果をあげるとともに、美化を推進する。	⑤		
			⑥ 地域の美化に貢献する気持ちを育て、奉仕の精神を養う。	⑥		
			活動計画	活動計画の実施状況		
			① 緊急時に適切な行動がとれるようにするため、地震・火災を想定した避難訓練を実施する。	①		
			② 安全確保に対する意識を高めるため、防災教育を充実させる。	②		
			③ 防災クラブの活動として、1・2学期末に防災活動を積極的に行う。	③		
			④ ゴミ分別チェックを実施する。	④		
			⑤ 月に1回大掃除を実施する。	⑤		
			⑥ 1, 2学期末に校外奉仕活動を積極的に行う。	⑥		

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策		
			評価指標と活動計画		評価				
主権者教育・消費者教育・情報教育の推進	⑨主権者教育・消費者教育・情報教育の推進	地歴・公民科	評価指標	① 主権者意識を高めるため、生徒会役員選挙時に石井町選挙管理委員会の協力を得て模擬投票を実施する。(R2:3年生のみ実施)	評価指標の達成度	(評価)	○		
			活動計画		① 公民科の授業では、総務省・文科省発行「私たちが拓く日本の未来」等を使用し、選挙制度について十分に理解を深め、主権者としてあるべき姿を考えさせる。			活動計画の実施状況	(所見)
		地歴・公民科 家庭科	評価指標	② 消費者情報センターから講師を招き、出前講座を実施する。(R2:実施)	評価指標の達成度	(評価)		○	
			活動計画		② 家庭科の授業では、徳島県発行「社会への扉」等を使用し、消費者の権利と責任について考えさせる。				活動計画の実施状況
		情報課	評価指標	③ 電子黒板やタブレットの導入など徳島県版GIGAスクール構想における授業が円滑に行えるよう、機器の整備や活用法の指導などサポートを十分に行う。	評価指標の達成度	(評価)			○
			活動計画		③ 生徒アンケートや電子黒板利用状況調査等を活用し、円滑な活用に向けてサポートを行う。				